１：ニセコ町第２次環境基本計画の第１次見直し及び環境白書の作成：作業フロー

「ニセコ町第2次環境基本計画の第1次見直し」支援

1 庁内の取組み状況の把握	1.1 文献・データ資料の分析	1.1.1	各種関連計画ほか
		1.1.2	年度別ローリング（施策や事業の状況）
	1.2 庁内ヒアリング	1.2.1	関連する課からポイントを聞く
2 住民や事業者の状況把握	2.1 取り組み状況の全体把握	2.1.1	広報ニセコ等からの情報収集
	2.2 住民や事業者からの情報収集	2.2.1	ヒアリング等による取り組み状況の把握
	2.3 総合計画アンケート（H27）から	2.3.1	環境領域部分を抜粋し再活用
3 計画見直し案の作成	3.1 収集した内外の情報の集約	3.1.1	上記の全ての情報の集約
	3.2 見直しの作成	3.2.1	見直し修正対比の形で
	3.3 庁内関連各課の確認	3.3.1	必要に応じて再ヒアリング
	3.4 町長ヒアリング	3.4.1	新たな大きな政策方針等
	3.5 見直し案への住民意見および情報共有	3.5.1	環境審議会
		3.5.2	まちづくり講座、パブリックコメント、ほか

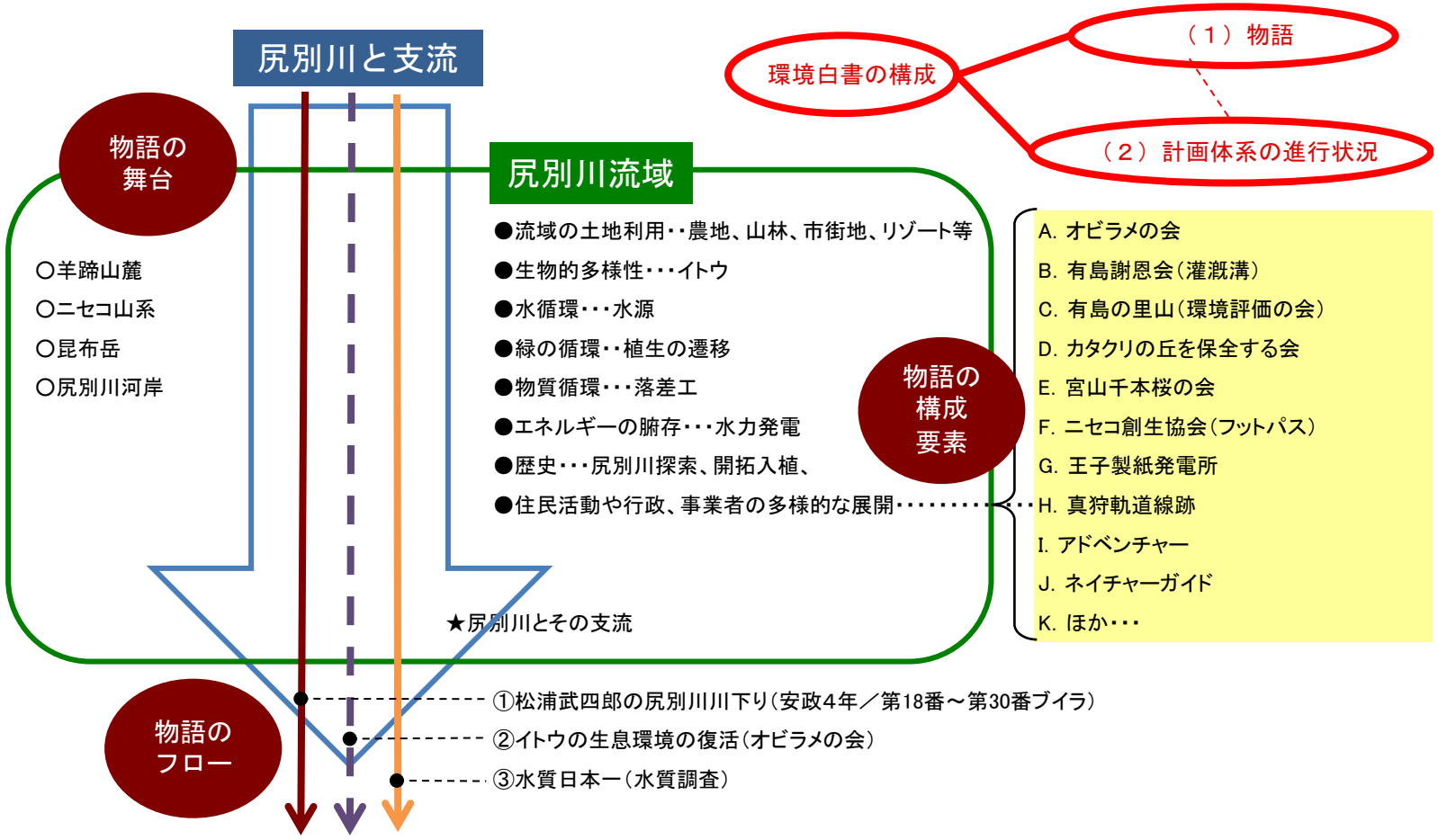
成果品

「ニセコ町環境白書の作成」支援

1 基礎情報の集約	1.1	集約情報の体系化
2 物語のプロット作成	2.1	プロット案の作成
3 物語を書く	3.1	ストーリーライティング
	3.2	バックデータとのリンク
4 住民ワークショップ	4.1	物語とバックデータがテーマ
5 「白書」の最終案作成	5.1	白書の編集

成果品

２：環境白書「物語」を構成するプロットの考え方（暫定案）



物語のコンセプト

■環境基本計画の「水循環」と「物質循環」の紹介や説明ではなく、それらの循環に、自然界や人間社会、特に、住民活動や事業者、行政の、多様な関わりの全体を、ひとつの物語として紡ぎ出す。
■物語の目的は、環境基本計画の全体を網羅的に理解してもらうことではなく、ニセコ町の環境の根幹のひとつである「水循環」に焦点を当てて、その多様性の有機的全体性を感覚として理解してもらうこと。
■物語の詳細具体化については、今後の取り組みの中から。（→「作業フロー」参照）